



Jichi 地域連携ニュース

- ・副病院長就任のご挨拶 佐田尚宏
- ・H26年度 附属病院の体制
- ・H26年度 新任所属長、教育研究施設副センター長
- ・NST研修会のご案内
- ・認定看護師の活動状況 小松崎香

副病院長就任のご挨拶

鏡視下手術部
消化器・一般外科 佐田尚宏



今年4月から副病院長を拝命致しました鏡視下手術部、消化器・一般外科の佐田尚宏です。職員の労働環境改善と次回の病院機能評価を担当致します。

私は平成12年4月に自治医科大学消化器・一般外科に着任しました。消化器・一般外科では膵臓・胆道外科、内視鏡外科を担当し、膵癌の治療成績向上、膵切除術の死亡率・合併症率低減を目標として、年間約50件の膵切除術をはじめ、多数の手術を担当しています。平成19年には新設された鏡視下手術部の部長を拝命し、増加している鏡視下手術、内視鏡手術が安全かつ快適に実施できるように、トレーニングとマネージメントを行っています。

昨年11月には大動物実験施設に手術支援ロボット(Da Vinci)を導入し、今年度の臨床実施に向けてトレーニングを開始しました。平成22年からは病院長補佐として、病院ウェブサイトのリニューアル、がん診療地域連携パスの整備、勤務医及び看護職員の負担軽減及び処遇改善委員会等を担当し、以前から担当している院内がん登録とあわせて、自治医科大学病院のがん診療地域拠点病院としてのインフラ整備に努めてきました。

自治医科大学病院は平成19年以降栃木県のがん診療地域拠点病院で、それに加えて高次救急も担当しています。そのため、受診患者数の増加傾向が継続し、がん症例の手術待ち期間が短縮できない状況です。現在は年間約9000件の手術件数を10000件以上行えるように、業務の効率化と診療能力の向上が急務と考えています。

この点を含めて、医師・職員一丸となって安田病院長を補佐し、自治医科大学病院が栃木県の地域医療を支える病院として、より一層発展するよう努力する所存です。皆様方のご指導、ご鞭撻を宜しく申し上げます。

<H26年度 附属病院の体制>

役職	氏名	担当	所属部門
病院長	安田 是和		外科学主任教授
副病院長	鈴木 光明	総務、がん拠点病院、病棟・外来診療業務(外科系)	産科婦人科学主任教授 (兼)総合周産期母子医療センター長
	杉山 幸比古	リニューアル、保険診療、病棟・外来診療業務(内科系)	内科学主任教授(兼)呼吸器センター長
	渡邊 英寿	病院経営、医療安全	脳神経センター長(兼)企画経営部長
	佐田 尚宏	労働環境改善、病院機能評価	鏡視下手術部長(兼)消化器副センター長
	竹内 護	手術適正化、中央診療運営部	麻酔科長(兼)小児手術部長
	朝野 春美	看護部業務	看護部長
病院長補佐	吉川 一郎	外来診療運営部	小児リハビリテーション部長
	山本 博徳	入院診療運営部	光学医療センター部長(兼)消化器センター長
	山形 崇倫	とちぎ子ども医療センター、小児医療	とちぎ子ども医療センター長
	長田 太助	地域医療連携、病院機能評価	腎臓センター長(兼)透析部長

< H26年度 新任所属長 >

脳神経センター(内科部門) 科長	杉山幸比古
血液科 科長	永井正
歯科口腔外科 科長	神部芳則
中央手術部 部長	堀江久永
放射線IVR部 部長	杉本英治
脳卒中センター センター長	渡辺英寿
内視鏡部 部長	山本博徳
無菌治療部 部長	藤原慎一郎
医療情報部 部長	興梶貴英
小児外科 科長	小野滋

< H26年度 教育研究施設 副センター長 >

分子病態治療研究センター	黒尾誠
メディカルシミュレーションセンター	長谷川剛
地域医療学センター	松村正巳
RIセンター	浜本敏郎
実験医学センター	石橋俊
先端医療技術開発センター	花園豊
医学教育センター	石川鎮清
学生生活支援センター	野田泰子

♪♪♪ 附属病院からのお知らせ ♪♪♪

✿ **NST研修会のご案内** 参加無料(申込み不要)

会場 自治医科大学地域医療情報研修センター 中講堂 (本館西側の茶色の建物)
 対象 NSTのための専門的な知識・技術を有する看護師・薬剤師及び管理栄養士等の養成を目的とした研修
 問合せ先 臨床栄養部 NST支援室 ☎ 0285-58-7574 Eメール nst@jichi.ac.jp

演題	日程	講師
血糖コントロールと栄養管理	7月2日(水) 18~19時	内分泌代謝科 岡田健太 医師 看護部 馬場千恵子 看護師 (糖尿病看護認定看護師・NST専任看護師) 臨床栄養部 荒川由紀子 (NST専任管理栄養士)
経腸栄養について(プラン・モニタリング) アクセスデバイス(EDチューブ・PEG等)の指導と 管理 簡易懸濁法について	8月5日(火) 18~19時	臨床栄養部 川畑奈緒 管理栄養士 (NST専任管理栄養士) 看護部 古内三基子 看護師 (NST専任看護師) 薬剤師 笹原裕美子 薬剤師 (NST専任薬剤師)
静脈栄養について(プラン・モニタリング)	9月2日(火) 18~19時	消化器外科 倉科憲太郎 医師 (NST委員長・専任医師) 薬剤部 村上径世 薬剤師 (NST専任薬剤師)

私は現在、緩和ケアチーム専従看護師として相談のあったがん患者とその家族に対する看護支援を行っています。相談を受けることは身体症状や治療に関すること、気分の落ち込みや今後への不安、医療費など経済的な問題、今後の療養場所についてなど、多岐に渡ります。患者さんが病と共に生きる中で、自分の持つ力を発揮し、自分らしく生きることができるようサポートすることが私の役割であると考えています。

がんは、2人に1人がかかり、3人に1人が死に至る“国民病”といえる病気です。がん患者に対する就労支援やサポートグループ活動、患者サロンの開催などは、がん診療連携拠点病院に求められる重要な役割となっています。当院では2012年からサポートグループ活動の一つとして「がんの親をもつ子どもへのサポートグループ (CLIMB®プログラム)」を開始しています。CLIMB®プログラムは、親ががんであることを伝えられている小学生の子どもを対象に、工作や話し合いを通して子どもの持っている力を引き出し、親の病気に関連するストレスに対処していくための能力を高めることを目的としています。グループ活動を通して仲間とつながることで強さを持ち、がんについての理解を深め、自分の感情を表現する力を習得する子どももいます。親同士も交流する中で、がんを罹患してからの体験を共有することで不安や悩みの軽減につながっています。

また今年度4月からは「がん患者と家族のサロン 虹」を月に一度、多職種と協働し開催しています。このサロンの存在が、希望ある明日への生活につながる架け橋となるよう「虹」と名付けました。サロンでは、がんに関するミニレクチャー、リラクゼーション体験、参加者同士の自由な語り合いを行います。ご紹介した「子どものサポートグループCLIMB®プログラム」、「患者サロン」共に病院内外からの参加者を広く受け付けております。一人でも多くの方が、がんとうまく付き合っていくために、患者さんやご家族の皆さんへご案内いただければと思います。

連絡先: 自治医科大学附属病院 がん相談支援室 (平日 TEL: 0285-58-7107)



CLIMB®で子どもが作成する「強さの箱」

★ 名称変更のお知らせ ★

平成26年4月1日より、地域医療連携部は、地域医療連携・患者支援部に変更となりました。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

発行先 自治医科大学附属病院 地域医療連携・患者支援部 病診連携室
TEL 0285-58-7461 FAX0285-44-5397 E-mail byoushin2@jichi.ac.jp